

2022.3.31

「発達障害」分科会 2021年度活動報告

(1) 会の代表者・連絡担当者等の確認 「発達障害」分科会

会長 吉井勤人
副会長 長澤真史
会計 板倉達哉
監事 兵藤瑞穂

(2) 令和3年度の活動報告書

①総会 日時:2021年3月7日～14日メール協議

方法:メール会議(新型コロナウイルス感染症対策として)

議題:2021年度活動報告・決算報告および2022年度活動方針

②例会

日時:2021年11月27日(土) 14時00分～16時30分

方法:Zoomミーティング

参加者:35名

■テーマ

保育現場でも学校現場でも、外部専門家による支援は、広く行われている。一方で、これらの実践は、画一的な枠組みによるというよりも、各地域の実態やリソースに応じて発展してきており、その実際は多様である。児童福祉法に基づく保育所等訪問支援、特別支援学校のセンター的機能など、制度的な背景も異なる。専門家によるスーパーバイズや研修的側面の強いものもあれば、多職種連携による協働的問題解決の側面が強いものもある。成果として想定されるものも、対象児の発達や行動変容、保育や授業の変容、保育者や教師の変化、支援者集団への影響、支援者間のネットワークの形成など幅広い。

近年、多職種連携やチームでの対応が強調される中、外部専門家がどのような役割を担うべきかは、重要な論点だと考えられる。「発達障害」分科会では、昨年度より、「外部専門家による支援の再考」をテーマに議論を行っている。今回の例会では、巡回相談等の研究や実践を積み重ねてこられた森正樹先生のお話を伺い、外部専門家による支援が、何のために、どのように行われるべきかについて、今一度考えてみたい。

■スケジュール

1. 企画趣旨 長澤真史氏 14:00～14:10
2. 発表 板倉達哉氏 14:10～14:30
3. 講演 森正樹氏 14:30～16:00
4. 全体討論 16:00～16:30

③学会活動

(a)日本発達心理学会第 33 回大会ラウンドテーブル(7PM1-C-RT15)

日時:2022年3月7日(月)14:15~16:15 Web 開催(東京学芸大学)

タイトル:「発達障害」分科会 主催 ラウンドテーブル

【今、特別支援学校(知的障害)で何が起きているのか?

—発達の観点の意義を再度、見直す—】

司会者:長崎勤(実践女子大学)

話題提供者:吉井勘人・青木雄一(山梨大学大学院)

若井広太郎・田上幸太(筑波大学附属大塚特別支援学校)

指定討論者:田島 信元(白百合女子大学名誉教授)

西山 剛司(京都教育大学)

(b)研究発表(5AM2-G-PS03)

日時:2022年3月5日(土)11:30~12:30 Web 開催(東京学芸大学)

板倉達哉・長澤真史・吉井勘人 巡回相談における写真を用いた保育コンサルテーションの試み

④書籍の出版

日本発達心理学会「発達障害」分科会監修.長崎勤・吉井勘人・長澤真史編著.これからの特別支援教育:発達支援とインクルーシブ社会実現のために.北樹出版.2022年3月25日.

(3)令和4年度の活動計画 有

①総会の開催 メール会議 期間:3月14日~21日

②例会の開催 オンライン型の学習会

テーマ:コンサルテーションにおける発達論的アプローチの追求Ⅱ

Zoomなどを利用して、講演会または論文や書籍の輪読を行う。

③ニュースレターの発行